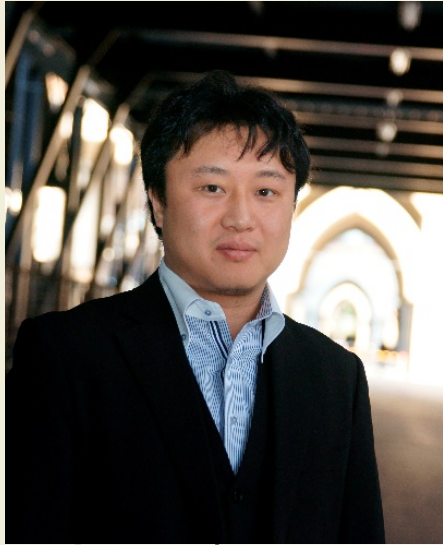


「風評被害のメカニズムー放射線災害の社会過程」



講演者：関谷直也 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授

日時：2018年10月12日（金） 18:00-20:00

場所：東京大学本郷キャンパス 情報学環本館2階教室 （先着30名）

概要：東京電力福島第一原子力発電所事故後の内部被ばくへの不安感と経済被害に焦点を絞り、この問題をめぐる科学と社会対応の相克について議論する。

申し込み必要：<https://goo.gl/bzaCHD>

プロフィール

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員准教授を兼務。東京大学大学院社会情報専門分野博士課程満期退学。東京大学大学院情報学環助手、東洋大学社会学部専任講師、准教授等を経て、現職。専門は災害情報論、災害社会学、社会心理学。自然災害、原子力災害などにおける災害時の心理、情報伝達などを研究。

委員として、東京電力福島原子力発電所事故検証委員会政策・技術調査参事（政府事故調）、東京電力福島原発事故損害賠償被害調査委員会、経済産業省多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会、新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会座長、文部科学省・次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトアドバイザー（リスク・コミュニケーション担当）など。主著に『風評被害ーそのメカニズムを考える』光文社新書、『災害の社会心理』KKベストセラーズ、『環境広告の心理と戦略』同友館。